ONKYO

スマートミュージックシステム

CBX-200

取扱説明書

保証書付

はじめに 2

接続する 9

基本操作 10

Bluetooth対応機器 12
iPod、iPhone、iPadの
曲を聴く 13

その他の機能 15

困ったときは 23
本機をリセットする 25
主な仕様 27

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に
保管してください。

Made for
iPod iPhone iPad

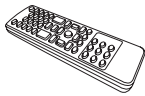
MP3 WMA

目次

ページ

一般情報
安全上のご注意.....3
各部の名前.....7 - 8
使用前の準備
接続する.....9
リモコンの使いかた.....10
基本の操作
基本操作.....10 - 11
時計を設定する（リモコンのみ）.....11
Bluetooth対応機器の曲を再生する.....12 - 13
iPod、iPhone、iPad
iPod、iPhone、iPadの曲を聴く.....13 - 15
CD、MP3/WMAディスク
CDやMP3/WMAディスクの曲を聴く.....15 - 16

ページ

CDやMP3/WMAディスク再生時の便利な機能.....16 - 17
MP3/WMAフォルダモード.....18
USB
USBメモリー/MP3プレーヤーの曲を聴く.....19
USB再生時の便利な機能.....20
Radio
ラジオを聴く.....20
高度な機能
タイマー/スリープ機能（リモコンのみ）.....21 - 22
外部機器を接続する.....22
その他
困ったときは.....23 - 25
ご相談窓口・修理窓口のご案内.....26
主な仕様.....27

付属品

下記の付属品がそろっていることをお確かめください。

リモコン×1 (RC-891S)	単3形乾電池×1	FMアンテナ×1	AMアンテナ×1	取扱説明書×1 （本書）

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

⚠警告　誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意　誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⃠記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■ **通風孔をふさがない、放熱を妨げない**

禁止

本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。

- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（本機の天面、横から10ｃｍ以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■ **水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない**

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■ **電源コードを傷つけない**

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ **電源プラグは定期的に掃除する**

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

使用上のご注意

■ **本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない**

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機の通風孔、ディスク挿入口から異物を入れない
- 本機の上に通風孔に入りそうな小さな金属物を置かない

⚠警告

使用上のご注意

■ CDドアの中に手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ 長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■ レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■ 雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■ 心臓ペースメーカーを装着されている場合は、本機を使用しない

禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。

■ 病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、車の中では本機を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

■ 他の機器に電波障害などが発生した場合、本機の使用を中止する

禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

■ 長期間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

電池に関するご注意

■ 乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示(プラスとマイナスの向き)に注意し、表示通りに入れる

■ 電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■ 屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

⚠注意

電源コード・電源プラグに関するご注意

■ 表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■ 電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

■ 電源を完全に遮断するには、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜き差ししやすい場所に本機を設置してください。
プラグを持って抜いてください。

■ 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■ 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

■ お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

使用上のご注意

■ 通風孔の温度上昇に注意

高温注意

本機の通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■ 音量を上げすぎない

禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■ キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったりデータが消失することがあります。

移動時のご注意

■ 移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

■ 本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因になります。

■ 機器内部の点検について

お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■ 本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

電波に関するご注意

本機を使用する周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジや産業･科学･医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。

- 本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。混信回避のための処置等については、オーディオコールセンター（本書に記載）へご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、オーディオコールセンター（本書に記載）へお問い合せください。

2.4 FH1

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH: FH-SS変調方式を表します。

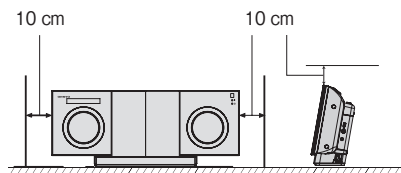
すべてのBluetooth機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
本機とBluetooth対応機器との互換性については、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。一部の国では、Bluetooth対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

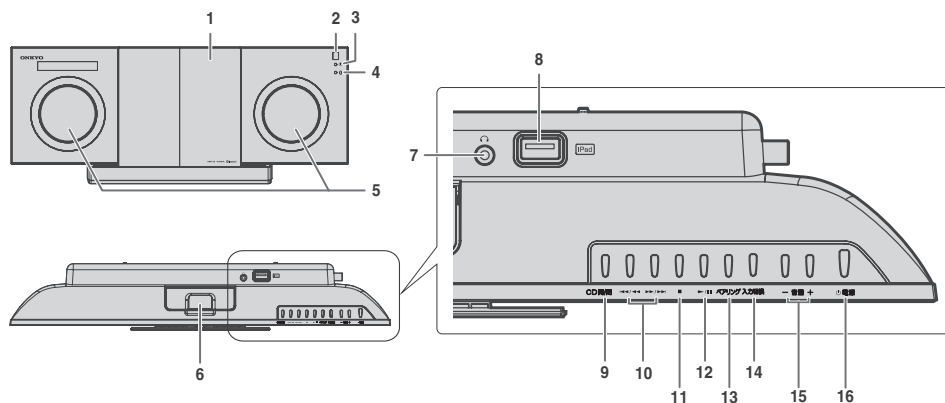
iPad、iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
iPad Air、iPad miniは、Apple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
「Made for iPod」、「Made for iPhone」、「Made for iPad」とは、それぞれiPod、iPhone、iPad専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
この製品とiPod、iPhone、iPadを使用する際、ワイヤレス機能に影響する場合があります。
iPad®
iPhone®
iPod®
iPod classic®
iPod nano®
iPod touch®
iPad Air™
iPad mini™

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc. が所有する登録商標であり、オンキヨー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。

本機をご使用上の注意

- 本機は必ず通気性の良い場所に設置してください。また、本機の上面および側面には10cm以上のスペースを確保してください。

- 安定した振動のない平面に設置してください。
- スピーカー振動板は強く押さえないでください。スピーカーが破損する恐れがあります。
- ブラウン管テレビをお使いの場合は、色への干渉を避けるため本機をテレビから30cm以上、または干渉しない場所まで離してください。液晶テレビとの干渉はありません。
- 直射日光のあたる場所、強い磁場がある場所、ほこりの多い場所、湿気の多い場所、電気ノイズの発生する電気製品（パソコン、FAXなど）の近くには設置しないでください。
- 本機の上にものを置かないでください。
- 水滴のかかる場所、気温が高い場所（40℃以上）や極端に低い場所には設置しないでください。
- 電源プラグがコンセントに接続されているときは、本機に電源が供給されています（スタンバイモード）。
- 本機が正しく動作しないときは、いったん電源プラグをコンセントから外し、差し直してから電源を入れてください。
- 雷が発生しそうな場合は、安全のため電源プラグをコンセントから外しておいてください。
- 電源コードをコンセントから外すときは、電源プラグ部を持って抜いてください。コードを引っ張ると内部のワイヤーが断線する恐れがあります。
- 本機は周囲温度5℃～35℃の環境で使用してください。

各部の名前

■ 前面パネル

ページ

1. CDドア 16
2. リモコン受光部 10
3. タイマー表示 21
4. Bluetooth表示 12
5. スピーカー（振動板） 7
6. iPod/iPhoneドック 14
7. ヘッドホン端子 22
8. USB端子 14, 19
9. CD開/閉ボタン 16

ページ

10. ⏮◀◀/◀◀、▶▶/▶▶⏭ボタン 15, 16, 19
11. ■ボタン 16, 19
12. ▶/❚❚ボタン 15, 16
13. ペアリングボタン 12
14. 入力切換ボタン 11
15. 音量＋/－ボタン 10
16. ⏻電源ボタン 14

各部の名前（続き）

■ リモコン

ページ

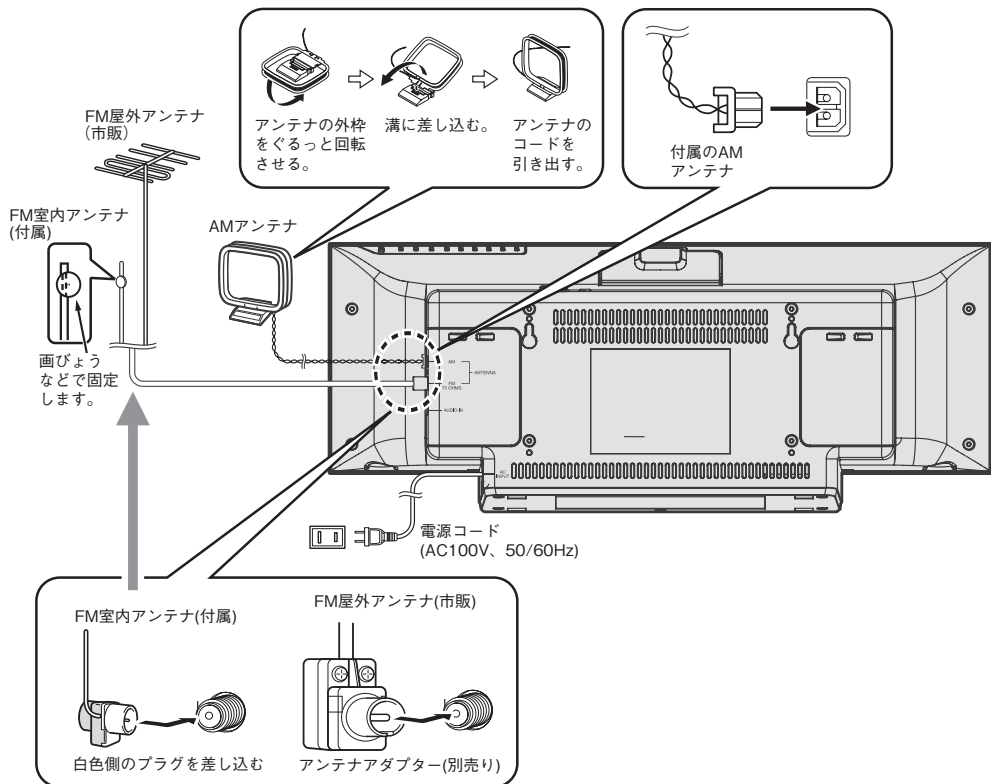
1. リモコン送信部 10
2. CD開/閉ボタン 16
3. 数字ボタン 15
4. 音質ボタン 11
5. チューニング▲/▼ボタン 20
6. 重低音ボタン 11
7. メニューボタン 15
8. プリセット▲ボタン、カーソル▲ボタン 15, 18, 19, 20
9. ⏮/◀◀ボタン 11, 15, 16, 18, 19, 21
10. ■ボタン 16, 17, 19
11. プリセット▼ボタン、カーソル▼ボタン 15, 18, 19, 20
12. メモリーボタン 17, 20
13. クリアボタン 17
14. CDボタン 16, 19
15. iPodボタン 14
16. FM/AMボタン 11, 20
17. AUDIO IN（オーディオイン）ボタン 22, 25
18. 電源ボタン 10, 11, 14, 20
19. スリープボタン 22
20. ディマーボタン 10
21. 表示ボタン 18, 19
22. 消音ボタン 11
23. Bluetooth（ブルートゥース）スタンバイボタン 9
24. 音量＋/－ボタン 10
25. 時計/タイマーボタン 11, 21
26. 決定ボタン 11, 15, 21
27. ⏭/▶▶ボタン 11, 15, 16, 18, 19, 21
28. ▶（プレイ）/II（ポーズ）ボタン .... 10, 14, 16 ～ 19
29. モードボタン 16, 17
30. フォルダボタン 18, 19
31. USBボタン 14, 19
32. Bluetooth（ブルートゥース）ボタン 12, 13

■ 表示部

ページ

1. USB表示 19
2. iPod表示 14
3. CD表示 16
4. MP3表示 15
5. WMA表示 15
6. S.BASS（スーパーバス）表示 11
7. RDM（ランダム）表示 17
8. MEM（メモリー）表示 17
9. ⮌（リピート）1 表示 15
10. II（ポーズ）表示 15
11. ▶（プレイ）表示 15
12. ▶●◀（チューンド）表示 20
13. FM ST（ステレオ）表示 20
14. MUTING（ミューティング）表示 11
15. TITLE（タイトル）表示 18
16. ARTIST（アーティスト）表示 18
17. FOLD（フォルダ）表示 18
18. ALBUM（アルバム）表示 18
19. FILE（ファイル）表示 18
20. TRACK（トラック）表示 17
21. DAILY（デイリー）表示 21
22. ⏻（タイマー）（ONCE）表示 21
23. DISC（ディスク）表示 16
24. TOTAL（トータル）表示 18
25. SLEEP（スリープ）表示 22

接続する

電源コードはすべての接続が終わるまで接続しないでください。

■ アンテナの接続

付属のFMアンテナ:

FMアンテナをFM 75 OHMS端子に接続し、FMラジオの受信感度が良くなるようにアンテナをピンと張って方向を調整します。

FM屋外アンテナ:

受信状態が悪いときは、FM屋外アンテナ(75Ω同軸ケーブル)をお使いください。その場合は、付属のFMアンテナは接続しません。

AMアンテナ

付属のAMアンテナのコネクタをAM端子にきちんと奥まで差し込みます。AMラジオの受信状態が良くなるようアンテナの位置や向きを調整してください。ノイズ源になる電気製品からはできるだけ離してください。

ご注意

- 本機の上や電源コードの近くにアンテナを設置すると、ノイズが発生する場合があります。アンテナは本機や電源コードから離れた場所に設置してください。
- 鉄筋の建物の中は電波が入りにくくなります。アンテナはできるだけ窓際に設置してください。

■ 電源コードの接続

すべての接続が完了したら、本機の電源コードをコンセントに接続します。

ご注意

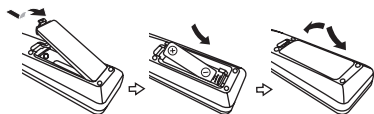
本機を長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから外してください。

■ Bluetoothスタンバイについて

- Bluetoothスタンバイ状態にすると、スマートフォンなどからBluetooth接続するだけで、本機の電源が自動的にオンになります(10 ページ「自動電源オン」)。
- 本機の Bluetoothスタンバイの初期値はオンになっています。そのため、初めて電源コードをコンセントに接続すると、「BT Standby」と表示されます。
- Bleutoothスタンバイにすると、待機時消費電力が増加します。Bluetooth接続で自動的に電源をオンにする必要がなければBluetoothスタンバイをオフにしてください。
- Bluetoothスタンバイをオフにするには、電源がスタンバイ状態のときにリモコンの ✱ スタンバイボタンを押します。しばらくして「BT Standby」表示が消えます。
- 再度 Bluetoothスタンバイをオンにするには、もう一度リモコンの ✱ スタンバイボタンを押します。
- Bluetoothスタンバイのオン/オフを切り換えるときは、iPodやiPhoneをドックから外してください。

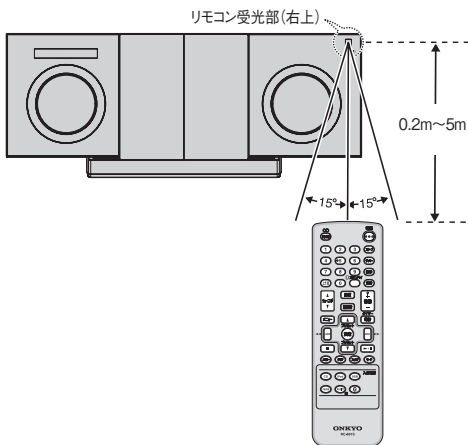
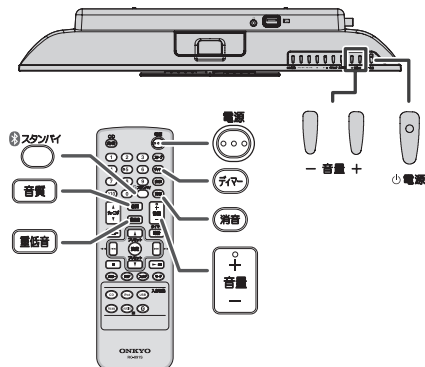
リモコンの使いかた

■ 電池を入れる

1 電池カバーを開く。
2 カバー内の表示にしたがって、付属の電池をリモコンに入れる。
3 電池カバーを閉じる。

ご注意

- 本機を長期間使用しないときは、乾電池の液漏れなどによる損傷を防ぐため、電池をリモコンから取り出してください。
- 充電式電池（ニッケル水素電池など）は電圧が低いため、本機には適しません。使用しないでください。
- 電池の向き（+/−）が間違っていると、リモコンが故障する原因となります。
- 直射日光のあたる場所や火の近くなど、暑くなる場所に電池を放置しないでください。
- リモコンの操作距離が短くなった場合や、本機を正常に操作できない場合は、リモコンの電池を交換してください。交換には、単3形アルカリ乾電池をお奨めします。
- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンが正常に動作しないことがあります。

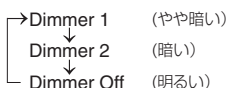
■ リモコンの操作範囲

リモコンの操作範囲は下図の通りです。
リモコンを本体のリモコン受光部にきちんと向けて操作してください。

基本操作

■ 電源を入れる

電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
もう一度押すと、電源が切れます（スタンバイ状態）。

■ 表示部の明るさを調節する

リモコンのディマーボタンで表示部の明るさを切り換えます。

→Dimmer 1	（やや暗い）
↓ Dimmer 2	（暗い）
↓ Dimmer Off	（明るい）

■ 音量フェードイン

音量設定が28以上の状態で本機の電源を切ると、次回電源を入れたときに音量が16から始まり、元のレベルまで徐々に大きくなります。

■ 音量を調節する

本体の音量+/−ボタンまたはリモコンの音量+/−ボタンで、音量を調節します。
音量は0〜30、Maxの範囲で調節できます。

■ ダイレクト電源オン

以下のボタンを操作すると、本機の電源が自動的に入ります。

- リモコンのCD、iPod、USB、FM/AM、AUDIO IN、Bluetooth、►/IIボタン：選択した機能が動作します。
- 本体の►/IIボタン：本機の電源が入り、前回使用していた機能が動作します（CD、iPod、USB、FM/AM、AUDIO IN、Bluetooth）。

■ 自動電源オン

本機がBluetoothスタンバイ状態で、お使いのBluetooth機器から接続すると、本機の電源が自動的に入ります。

- この機能を使用するには、本機とBluetooth機器のペアリングが完了している必要があります。
- この機能が不要なときは、Bluetoothスタンバイをオフにしてください（9 ページ「Bluetoothスタンバイについて」）。
- Bluetooth機器によっては、Bluetoothをオンにするだけで本機に接続し、本機の電源が自動的に入る場合があります。それを避けたい場合は、本機のBluetoothスタンバイをオフにしてください。

基本操作（続き）

■ 自動電源オフ

以下の状態で15分経過すると、本機の電源が自動的にスタンバイになります（iPod、iPhone、iPad接続時を除く）。

CD: 停止状態またはディスクなし
iPod: ドック接続なし
USB: 停止状態またはメディアなし
AUDIO IN: 入力信号なし
Bluetooth: ポーズ状態または接続なし

ご注意

iPodやiPhoneがドックに接続されている場合は、スタンバイになると充電状態を示すために、表示部に「Charge Mode」と表示されます。

■ 消音

リモコンの消音ボタンで一時的に音を消します（「MUTING」表示点灯）。もう一度押すと元の音量に戻ります。音量を変えたり入力を切り換えても消音が解除されます。

■ 重低音を設定する

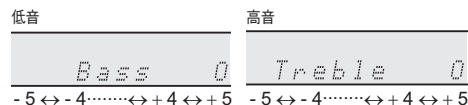
重低音ボタンを押すたび、以下のように切り換わります。

S.Bass Off ⟷ S.Bass On

S.Bass Onのとき、低音/高音調節は無効になり、重低音のみが強調されます。S.Bass offのときは、低音/高音調節が復活します。

■ 低音/高音を調節する

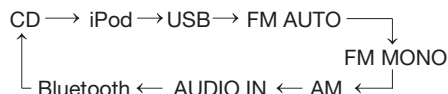
1 音質ボタンをくり返し押して、「Bass」（低音）または「Treble」（高音）を選ぶ。

2 3秒以内に、▲/▼ボタンを押して調節する。引き続き他方の音質を調節するときは、手順1に戻る。

ご注意

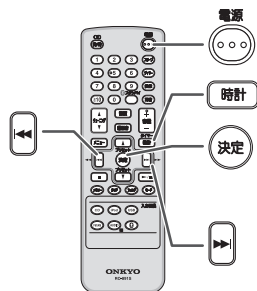
- 音質ボタンを押すと、S.Bassがオフになり、「S.Bass」表示が消灯します。このとき、低音/高音調節の設定が復活します。
- 低音/高音調節と重低音を同時に効かせることはできません。

■ 入力を切り換える

本体の入力切換ボタンを押すたびに、以下の順で入力が切り換わります。

CD ⟶ iPod ⟶ USB ⟶ FM AUTO ⟶ FM MONO ⟶ AM ⟶ AUDIO IN ⟶ Bluetooth ⟶ CD

リモコンでは、CD、iPod、USB、FM/AM、AUDIO IN、Bluetooth ボタンで、直接その入力に切り換えることができます。
FM/AMボタンは、押すたびに以下の順で切り換わります。

→ FM AUTO ⟶ FM MONO ⟶ AM ─┐（FM AUTOに戻る）

時計を設定する（リモコンのみ）

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。

2 時計/タイマーボタンを押す。
時計が表示されます。

3 5秒以内に決定ボタンを押す。
曜日が点滅します。⏮/⏭ボタンで曜日を選び、決定ボタンを押す。

4 ⏮/⏭ボタンで24時間表示または12時間表示を選び、決定ボタンを押す。

5 ⏮/⏭ボタンで「時」を合わせて、決定ボタンを押す。

6 ⏮/⏭ボタンで「分」を合わせて、決定ボタンを押す。

時計を表示する

時計/タイマーボタンを押すと、約5秒間時計が表示されます。

ご注意

停電時や電源コードをコンセントから外した場合、時計が止まります。この状態で時計を表示させると、表示が点滅します。この場合は、時計を設定し直してください。

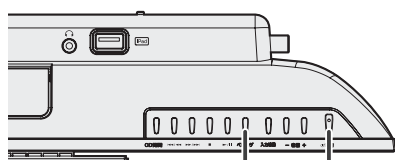
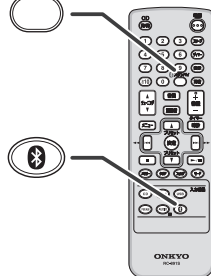
Bluetooth対応機器の曲を再生する

本機は、Bluetoothを搭載したスマートフォン、携帯音楽プレーヤー、パソコンなどの音楽をBluetooth接続してワイヤレスで再生することができます。

Bluetooth接続して音楽を聴くには、まずペアリングを行い、Bluetooth対応機器に本機を登録する必要があります。

一度ペアリングすれば、ペアリング情報が双方の機器に記憶され、再びペアリングする必要はありません。ただし、機器登録の削除などで、一方でもペアリング情報が削除されたときは、接続できなくなります。その場合は、ペアリングをやり直す必要があります。

ご注意

本機は、A2DP、AVRCPのプロファイルに対応しています。Bluetooth対応機器がA2DPに対応していない場合は、本機で再生できません。また、AVRCPに対応していない場合は、本機から再生/一時停止などの操作はできません。

■ ペアリングする

1 Bluetooth対応機器を本機の1m以内に置く。

2 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。

3 ボタン（リモコン）を押して、入力をBluetoothに切り換える。

4 本体のペアリングボタンを3秒以上押し続ける。

「Start Pairing」と表示され、表示が速い点滅になります。本機はペアリングモードになり、Bluetooth対応機器から検索できる状態になります。

5 Bluetooth対応機器でペアリング操作を行う。

検索した機器一覧が表示され、本機は「Onkyo CBX-200」と表示されます。
（Bluetooth対応機器の操作は、その機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

ご注意

- 「Onkyo CBX-200」が表示されないときは、Bluetooth対応機器で一度Bluetooth Off/Onなどを行い、再度ペアリング操作を行ってください。
- Bluetooth対応機器によっては一覧表示がない場合があります。その機器の取扱説明書にしたがってペアリングを行ってください。

6 Bluetooth対応機器で「Onkyo CBX-200」を選ぶ。パスコードを求められたら、「0000」を入力する。

パスコードは、PINコード、パスキー、PIN番号、パスワードと表示される場合があります。

7 ペアリングが完了すると、表示の点滅が停止します（ペアリング情報が本機に登録されます）。

ペアリングが完了すると、Bluetoothが接続されます。もし接続されない場合は、Bluetooth対応機器の取扱説明書を参照して接続操作を行ってください。

表示（青色）

状態	表示
接続なし	点滅
ペアリングモード	速い点滅
接続中	点灯

ご注意

- 正常にペアリングできないときは、手順1からペアリングをやり直してください。
- 別のBluetooth機器とペアリングするときは、機器ごとに手順1～7を実行してください。
- 本機は8台までペアリングすることができます。9台目をペアリングすると、最も古く接続したペアリング情報は削除されます。
- Bluetooth対応機器側で本機の登録を削除したときは、再度上記の手順にしたがってペアリングを行ってください。
- 本機をリセットしたときは、すべてのペアリング情報が削除されます。Bluetooth対応機器側でも本機の登録を削除し、改めてペアリングを行ってください。

Bluetooth対応機器の曲を再生する（続き）

■ 曲を再生する

操作の前に、以下の点をご確認ください。

- 再生機器のBluetooth機能がオンになっている。
- 本機と再生機器のペアリングが完了している。

1. 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
2. リモコンの Bluetooth ボタンまたは本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力をBluetoothに切り換える。
   自動的にBluetooth接続される場合は、手順4へ進む。
3. Bluetooth対応機器側で、Bluetoothの接続操作を行う。
4. Bluetooth対応機器を再生する。
   以下のボタンで本機（リモコン）から操作することもできます。

Bluetooth操作ボタン	
►/II	再生または一時停止する
►►I	次の曲に進む。 長押しで早送りする。
I◄◄	現在の曲の頭（前の曲）に戻る。 長押しで早戻しする。

ご注意

- 本機の入力をBluetoothに切り換えると、最後に接続したBluetooth対応機器に本機から自動的に接続します。なお、機器によっては自動接続しない場合もあります。その場合は、Bluetooth対応機器から接続してください。
- 入力がBluetooth以外のとき、Bluetooth対応機器から接続すると、入力が自動的にBluetoothに切り換わります。
- BT Standby状態のとき、Bluetooth対応機器から接続すると、自動的に本機の電源が入り、入力がBluetoothに切り換わります。
- Bluetooth対応機器によっては、電源オンやBluetoothをオンにするだけで接続する機器があります。そのときは、本機の入力が自動的にBluetoothに切り換わります。
  また、本機がBT Standby状態のときは、自動的に本機の電源が入ります。それを避けたい場合は、BT Standbyをオフに設定してください(9 ページ「Bluetoothスタンバイについて」)。
- 本機の入力をBluetooth以外に切り換えたり、電源を切ると、Bluetoothは切断されます。
- Bluetooth接続を違う機器に切り換えたいときは、現在接続しているBluetooth対応機器のBluetoothをオフにするか、本機の入力をBluetooth以外に切り換えた後、別のBluetooth対応機器から接続してください。
- Bluetooth対応機器にバスブーストやイコライザー機能があるときは、これらの機能はオフにしてください。オンにしていると、音が歪むことがあります。
- Bluetooth対応機器の音量は適切（最大）に上げ、音量調節は本機で行ってください。

iPod、iPhone、iPadの曲を聴く

本機は以下のモデルに対応しています。
● はUSB端子のみに、◉ はドックまたはUSB端子に接続することができます。

◉ iPhone 5s
◉ iPhone 5c
◉ iPhone 5
● iPhone 4s
● iPhone 4
● iPhone 3GS
● iPhone 3G
● iPad Air
● iPad mini with Retina display
● iPad 第4世代
● iPad 第3世代
● iPad 2
● iPad
● iPad mini
◉ iPod touch 第5世代
● iPod touch 第4世代
● iPod touch 第3世代
● iPod touch 第2世代
◉ iPod nano 第7世代
● iPod nano 第6世代
● iPod nano 第5世代
● iPod nano 第4世代
● iPod nano 第3世代

（2014年5月現在）

使用する前にソフトウェアを最新バージョンにアップデートしてください。詳しくはアップル社のサイトを参照してください。

ご注意

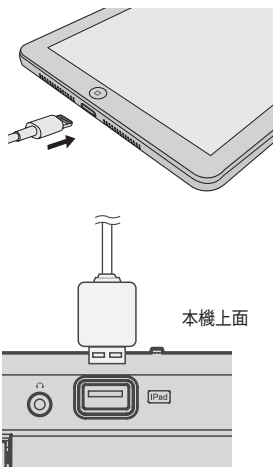
iPod、iPhone、iPadは、以下のとおり充電できます。

本機の状態		ドック接続時	USB接続時
電源オン	USB入力	不可	充電可
	その他の入力（CD/iPod/FM/AM/AUDIO IN/Bluetooth）	充電可	不可
スタンバイ		充電可	不可
Bluetoothスタンバイ		充電可	不可

- iPhoneの画面に「This accessory is not made to work with iPhone」または類似するメッセージが表示された場合、以下の状態が考えられます。
  - iPhoneの電池残量が少ない。
  - iPhoneが正しく接続されていない（斜めに接続されているなど）。

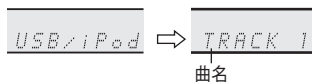
  この場合は、いったんiPhoneを取り外して接続し直してください。
- iPhone着信時に再生音が途切れる場合があります。

■ iPod、iPhone、iPadの接続（USB）

1 iPod/iPhone/iPadに付属のUSBケーブルを使って、iPod/iPhone/iPadを本機上面のUSB端子に接続します。

ご注意
- ご使用前に、USB端子のキャップを取り外してください。取り外したキャップは、お子様の手が届かない場所に保管してください。
- USB端子を長期間使用しないときは、ほこりの侵入を防ぐためキャップを取り付けてください。

■ iPod、iPhone、iPadの再生（USB）

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
2 リモコンのUSBボタン、または本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力をUSBに切り換える。
3 iPod/iPhone/iPadを本機上面のUSB端子に接続する。

表示部に「USB/iPod」と表示され、その後、状態によっては曲名が表示されます。

4 iPod/iPhone/iPadを操作して、再生を開始する。また、本機の►/IIボタンでも操作できます。

ご注意
iPod/iPhone/iPadでは、停止ボタン（■）は使用できません。

■ iPhoneの着信について

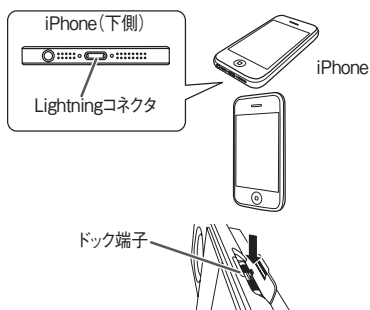
- iPhone着信時は再生が一時停止します。
- 通話の音声はiPhoneのスピーカーからのみ出力されます。通話をする場合は、iPhoneのスピーカーをオンにするか、iPhoneを本機から取り外してください。

■ iPodまたはiPhoneの接続（ドック）

ドック端子に接続する前に、ケースを外してください。ケースを付けているときちんと接続できず、正常に動作しないことがあります。

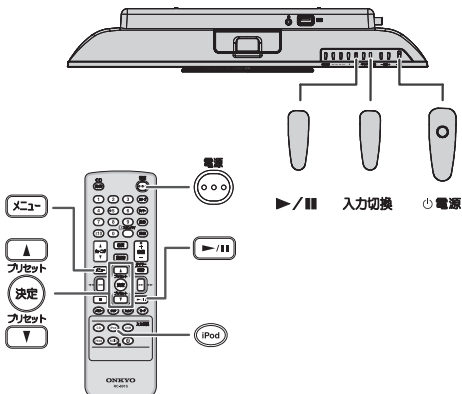
ご注意
本機のドック端子は、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPod touch 第5世代、iPod nano 第7世代のみに対応しています。

1 ドック端子のカバーを開く。

2 iPodまたはiPhoneをドック端子に接続する。

■ iPodまたはiPhoneの再生（ドック）

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
2 リモコンのiPodボタン、または本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力をiPodに切り換える。
3 iPod/iPhoneを本機のドック端子に接続する。

表示部に「Dock Ok」と表示され、その後、状態によっては曲名が表示されます。

4 ►/IIボタンを押して、再生を開始する。

iPod、iPhone、iPadの曲を聴く（続き）

■ iPod nanoのメニューを操作する

1 メニューボタンを押して、iPod nanoのメニューを表示する。

もう一度押すと前のメニュー画面に戻ります。

2 ▲/▼ボタンで項目を選び、決定ボタンで決定する。

ご注意

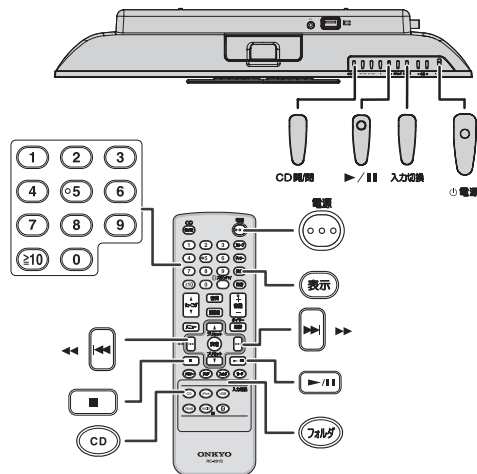
メニュー操作できるのは、USB端子に接続したiPod nano第3、4、5世代のみです。

■ iPod、iPhone、iPadの各種操作

機能	本体 Dock/USB	リモコン Dock/USB	操作
再生	►/II	►/II	一時停止中に押す。
一時停止	►/II	►/II	再生中に押す。
曲の選択	⏮◀◀	◀◀ ⏮ ⏭ ▶▶	再生中または一時停止中に押す。
早送り/早戻し	▶▶⏭	◀◀ ⏮ ⏭ ▶▶	再生中に長押しする。 ボタンを離すと、再生が始まります。
リピート	——	モード	くり返し押して、リピートモードを選ぶ。
シャッフル	——	モード	長押しして、シャッフルモードを選ぶ。
メニュー表示	——	メニュー ※	iPodメニューを表示するときに押す。
決定	——	決定 ※	iPodメニューの選択した項目を決定するときに押す。
カーソル移動（上/下）	——	▲ プリセット ▼ プリセット ※	iPodメニューの項目を選ぶときに押す。

ご注意

- iPod/iPhone/iPadでは、本体やリモコンの停止（■）ボタンは使用できません。
- ※のボタンが使えるのは、USB端子に接続したiPod nano第3、4、5世代のみです。
- iPod/iPhone/iPadの機種やバージョン、再生するコンテンツによっては、一部の機能が動作しないことがあります。

CDやMP3/WMAディスクの曲を聴く

本機は、音楽CD、CD-R/RW（CD-DA、MP3、WMAフォーマット）の再生に対応しています。本機を使用してディスクに録音することはできません。また、CD-R/RWでも、ディスクの状態や録音に使用した機器の種類によっては、本機で再生できない場合があります。

MP3について:

MP3（MPEG Audio Layer-3）は音声圧縮フォーマットです。オリジナルの音質をほとんど劣化させずに、小さなデータサイズに圧縮することができます。

- 本機は、MPEG 1 Layer 3およびVBRファイルに対応しています。
- VBRファイルの再生中は、表示部のカウンターが、実際の再生時間と異なって表示される場合があります。
- 本機は、ビットレート32〜320kbpsのMP3ファイルに対応しています。

WMAについて:

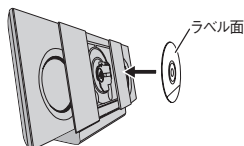
Windows Media Audioコーデックを使用した音声圧縮フォーマットです。Microsoft社が開発したフォーマットで、Windows Media Playerなどに使用されています。

- 本機は、ビットレート64〜160kbpsのWMAファイルに対応しています。

本機がMP3ディスクまたはWMAディスクを読み込むと、「MP3」表示または「WMA」表示が点灯します。

CDやMP3/WMAディスクの曲を聴く（続き）

■ ディスクの再生

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
2 リモコンのCDボタンを押す、または本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力をCDに切り換える。
3 CD開/閉ボタンを押して、CDドアを開く。
4 本体が倒れないよう手で支えながら、ディスクのラベル面を手前にして、ディスク中央の穴周辺を押してカチッとはめる。

5 CD開/閉ボタンを押して、CDドアを閉じる。
6 読み取りが終了した後、►/IIボタンを押して、再生を開始する。

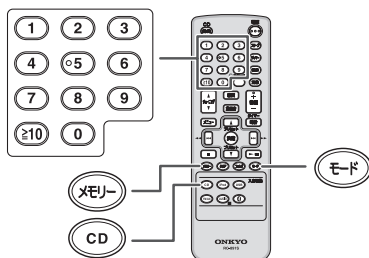
再生を停止する
■ボタンを押す。

ご注意
- 2枚のディスクを同時にセットしないでください。
- 特殊形状（ハート形、八角形など）のディスクを使用しないでください。
- 動作中にCDドアを押さないでください。
- CDドアが開いているときに本機の電源を切ると、CDドアが自動的に閉まります。自動電源オフ時にも、CDドアが自動的に閉まります。
- ディスクのデータ構造が異なるため、MP3/WMAディスクの読み込みには通常のCDより時間がかかります（約20〜90秒）。

ディスクを取り出す
1 ■ボタンを押して再生を停止する。
2 CD開/閉ボタンを押してCDドアを開ける。
3 ディスクの回転が止まってから、ディスクを取り外す。

■ ディスクの各種操作

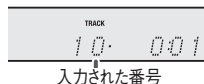
機能	本体	リモコン	操作
再生	►/II	►/II	停止中または一時停止中に押す。
一時停止			再生中に押す。
停止	■	■	再生中または一時停止中に押す。
曲の選択	⏮◄◄	⏭ ►►	再生中または停止中に押す。 停止中に曲を選んだ場合は、►/IIボタンを押すと再生が始まります。
早送り/早戻し	►► ⏭	◄◄ ⏮	再生中に長押しする。 ボタンを離すと、再生が始まります。

CDやMP3/WMAディスク再生時の便利な機能

■ ダイレクト選曲

数字ボタンを使って、聴きたい曲を直接選ぶことができます。

リモコンの数字ボタンで聴きたい曲の番号を選ぶ。
- 数字ボタンは0〜10の数字を入力することができます。
- 10番目以降の曲を選ぶ場合は、「≧10」ボタンを押した後、数字ボタンを押してください。

例A: 10番目の曲を選ぶ
1 「≧10」ボタンを1回押す。
2 「1」ボタンを押す
3 「0」ボタンを押す。

TRACK 10· 0:01
入力された番号

例B: 130番目の曲を選ぶ
1 「≧10」ボタンを2回押す。
2 「1」ボタンを押す。
3 「3」ボタンを押す。
4 「0」ボタンを押す。

ご注意
- ディスクの曲数よりも大きな番号は選択できません。
- ランダム再生中は、ダイレクト選曲は使用できません。

■ リピート再生

リピート再生を使うと、選択した1曲、すべての曲、またはメモリー再生で登録した曲をくり返し再生できます。

1曲だけをくり返し再生する:
モードボタンをくり返し押して、「Repeat One」を選ぶ。

すべての曲をくり返し再生する:
モードボタンをくり返し押して、「Repeat All」を選ぶ。

登録した曲をくり返し再生する:
「メモリー再生」（17ページ）の手順1〜5を実行してから、モードボタンをくり返し押して「Repeat All」を選ぶ。

フォルダ内の曲をくり返し再生する（MP3/WMAディスクのみ）:
フォルダモード（18ページ）のとき、モードボタンをくり返し押して「Repeat Folder」を選ぶ。

リピートを解除する:
モードボタンをくり返し押して「Normal」を選ぶ。「 」が消灯します。

ご注意
- リピート再生中に、再生を停止するときは■ボタンを押してください。停止操作をするまで再生が続きます。
- 再生を停止すると、リピートが解除されます。
- CDドアを開いたり、入力を他へ切り換えると、リピートが解除されます。また、電源を切っても、リピートが解除されます。

■ ランダム再生

ランダム再生を使うと、曲順をランダムに並べかえて再生できます。

すべての曲をランダムに再生する:
リモコンのモードボタンを長押しして、「Random」と表示させる。「RDM」表示が点灯します。

ランダムを解除する:
モードボタンを押す。「RDM」表示が消灯します。

ご注意
- ランダム再生中に►►Iボタンを押すと、ランダムに並びかえられた曲順で次の曲に進みます。I◄◄を押すと現在の曲の頭に戻ります（前の曲には戻りません）。
- 再生を停止すると、ランダムが解除されます。
- CDドアを開いたり、入力を他へ切り換えると、ランダムが解除されます。また、電源を切っても、ランダムが解除されます。

■ メモリー再生（CD）

メモリー再生を使うと、曲を登録（最大32曲）して再生することができます。

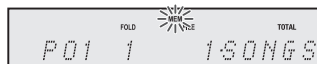
1 停止状態で、リモコンのメモリーボタンを押して登録モードにする。
「MEMORY」表示の後、「P01」と表示されます。
2 I◄◄/►►Iボタンで1番目に再生する曲の番号を選ぶ。

選択中の曲番号

3 メモリーボタンを押して、1番目の曲を登録する。
4 手順2〜3をくり返して残りの曲を登録する（最大32曲）。
5 ►/IIボタンを押して、再生を開始する。

■ メモリー再生（MP3/WMA）

1 停止状態で、リモコンのメモリーボタンを押して登録モードにする。
「MEMORY」表示の後、「P01」と表示されます。

2 ▲/▼ボタンでフォルダを選ぶ。

I◄◄/►►Iボタンで1番目に再生する曲の番号を選ぶ。

3 メモリーボタンを押して、1番目のフォルダ/曲を登録する。
4 手順2〜3をくり返して残りのフォルダ/曲を登録する（最大32曲）。
5 ►/IIボタンを押して、再生を開始する。

メモリー再生を解除する:
停止状態（「MEMORY xx」（xxは総メモリー数）と表示されます）で、■ボタンを押す。「Memory Clear」と表示され、登録した曲がすべて消され、「MEM」表示が消灯します。

登録した曲を確認する:
停止状態（「MEMORY xx」（xxは総メモリー数）と表示されます）で、メモリーボタンをくり返し押します。各P（プログラム）番号の内容が表示されます。

登録した曲を取り消す:
登録した曲の確認中、クリアボタンを押すと、そのP（プログラム）番号の内容が取り消され、以降の内容がくり上がります。

登録した曲を変更する:
登録した曲の確認中、変更したいP（プログラム）番号のときにI◄◄/►►Iボタンを押して曲を選び直し、メモリーボタンを押します。
最後の登録曲を変更後は、引き続き追加登録することができます。

ご注意
- CDドアを開いたり、入力を他へ切り換えると、登録がすべて消え、メモリー再生が解除されます。
- 電源を切ると、登録がすべて消え、メモリー再生が解除されます。
- メモリー再生中は、ランダム再生は使用できません。

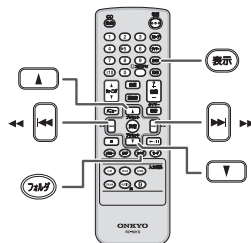
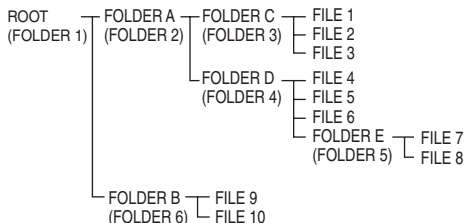
■ フォルダ再生順について

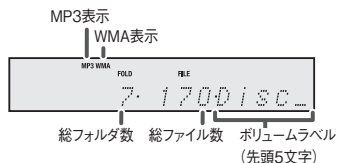
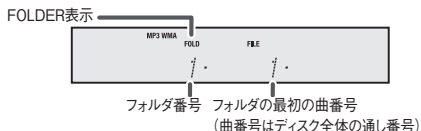
MP3/WMAディスクの場合、自動的に各フォルダにフォルダ番号が割り当てられます。
これらのフォルダは、リモコンのフォルダボタンと▲/▼ボタンで選択できます。本機で再生可能なファイルがフォルダ内に存在しない場合、該当フォルダは表示されず自動的に次のフォルダが選択されます。

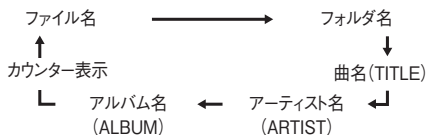
例:フォルダ番号の割り当て(以下のフォルダ構成の場合)

1 ルートフォルダには、フォルダ1が割り当てられる。
2 ルートフォルダ直下のフォルダ(A、B)は、保存した順にフォルダ番号が割り当てられる(フォルダ2、フォルダ6)。
3 フォルダA直下のフォルダ(C、D)は、保存した順に番号が割り当てられる(フォルダ3、フォルダ4)。
4 フォルダD直下のフォルダ(E)には、フォルダ5が割り当てられる。

- ライティングソフトによりフォルダまたはファイルの並び順が異なります。したがって、お使いのライティングソフトによっては、ここでの説明と再生順が異なる場合があります。
- 本機は、最大119個のフォルダ(本機が再生できないファイルを含むフォルダも含む)および999個のファイルを認識することができます。

リモコンのフォルダボタンで、フォルダモードのオン/オフを切り換えることができます。フォルダモードのオン/オフによって、再生されるファイルが異なる場合があります。

■ MP3/WMAディスクの再生(フォルダモード)

1 リモコンのCDボタンを押し、MP3/WMAディスクをセットする。フォルダボタンを押すと、総フォルダ数も表示されます。

2 フォルダ番号が表示されている状態(フォルダモード)で、▲/▼ボタンで再生するフォルダを選ぶ。

3 ◀◀/▶▶ボタンで再生するファイルを選ぶ。
4 ▶/IIボタンを押す。
再生が始まり、ファイル名が表示されます。

- ファイルに曲名、アーティスト名、アルバム名の情報が保存されている場合は、再生中、表示ボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

- フォルダモードの場合、再生中または一時停止中に▲/▼ボタンを押すと、フォルダを選択できます。この場合、該当フォルダの1番目の曲が選択されます。

ご注意
- 本機は日本語表示には対応していません。漢字、ひらがな、カタカナ、全角英数字など、表示できない文字は「·」で表示されます。
- 著作権保護されたファイルまたは本機が対応していないファイルが選択された場合、「Not Support」と表示された後、次のファイルにスキップします。

ご注意
- ご使用前に、USB端子のキャップを取り外してください。取り外したキャップは、お子様の手が届かない場所に保管してください。
- USB端子を長期間使用しないときは、ほこりの侵入を防ぐためキャップを取り付けてください。
- USBメモリーは延長ケーブルを使用せずに直接接続してください。

ご注意
本機で再生できるのは、MP3、WMAファイルのみです。

■ USBメモリーの再生（フォルダモード:オフ）

1 リモコンのUSBボタンを押す、または本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力をUSBに切り換える。MP3/WMAファイルが保存されているUSBメモリーを本機に接続する。

USBメモリーが接続されると、総ファイル数とボリュームラベル（先頭５文字）が表示されます。

2 I◄◄/►►Iボタンで再生するファイルを選ぶ。

ファイル番号は、複数のフォルダがあっても、USBメモリー全体の通し番号で表示されます。

3 ►/IIボタンを押す。

再生が始まり、ファイル名が表示されます。

- ファイルに曲名、アーティスト名、アルバム名の情報が保存されている場合は、再生時に各情報を表示させることができます。
- 表示する情報を切り換えるには、表示ボタンをくり返し押してください。

ご注意
本機は日本語表示には対応していません。漢字、ひらがな、カタカナ、全角英数字など、表示できない文字は「･」で表示されます。

■ USBメモリーの再生（フォルダモード:オン）

1 リモコンのUSBボタンを押す、または本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力をUSBに切り換える。
MP3/WMAファイルが保存されているUSBメモリーを本機に接続する。

USBメモリーが接続されると、総ファイル数とボリュームラベル（先頭5文字）が表示されます。

2 フォルダボタンを押してフォルダ番号を表示させ（フォルダモード）、▲/▼ボタンで再生するフォルダを選ぶ。そのフォルダの1曲目から再生する場合は、手順4に進む。

3 I◄◄/►►Iボタンで再生するファイルを選ぶ。

4 ►/IIボタンを押す。

再生が始まり、ファイル名が表示されます。

- ファイルに曲名、アーティスト名、アルバム名の情報が保存されている場合は、再生時に各情報を表示させることができます。
- 表示する情報を切り換えるには、表示ボタンをくり返し押してください。

ご注意
本機は日本語表示には対応していません。漢字、ひらがな、カタカナ、全角英数字など、表示できない文字は「･」で表示されます。

■ USBメモリーを取り外す

1 ■ボタンを押して、再生を停止する。

2 USB端子からUSBメモリーを取り外す。

ご注意
- 本機に接続したUSBメモリーのデータ破損または消失について、当社は一切責任を負いません。
- 本機のUSB端子は、MP3ファイルおよびWMAファイルのみの再生に対応しています。
- 本機は、FAT16/FAT32フォーマットのUSBメモリーに対応しています。
- USBメモリーのメーカーや種類により、本機で正常に使用できない場合があります。
- USBメモリーを接続するときは、USB延長ケーブルは使わないでください。USBケーブル経由でUSBメモリーを接続すると、動作に悪影響を及ぼす場合があります。なお、iPod、iPhone、iPadの付属ケーブルによる接続については問題ありません。
- USBハブ経由でUSBメモリーを使用することはできません。
- 本機のUSB端子は、パソコンの接続には使用できません。
- 外部ハードディスクをUSB端子に接続して再生することはできません。
- USBメモリーに保存されているデータのサイズによっては、本機が読み込むのに時間がかかる場合があります。
- 本機は、MP3ファイルおよびWMAファイルの再生に対応しています。本機で再生できないファイルが選択された場合、「Not Support」と表示され、自動的に次のファイルにスキップします。不明なファイルなどを選択後に本機の動作が異常になった場合は、本機の電源を一度切ってから入れ直してください。

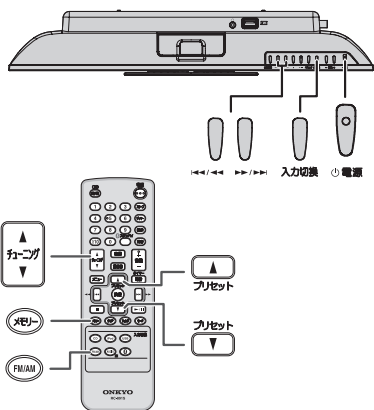
USB再生時の便利な機能

MP3/WMAディスクと同様に、以下の機能を使用できます。

ダイレクト選曲..16
リピート再生..16
ランダム再生..17
メモリー再生（MP3/WMA）..17

ご注意

- 本機はMP3およびWMAフォーマットのみに対応しています。
- ファイルの再生順はUSBメモリーに転送した順です。ただし、パソコンなどでUSBメモリーのファイルやフォルダを削除したり名前を変えたりすると、再生順が変わることがあります。
- MP3は32～320kbps、WMAは64～160kbpsのビットレートに対応しています。
- MP3ファイルは「mp3」または「MP3」、WMAファイルは「wma」または「WMA」の拡張子に対応しています。拡張子が正しくないと、本機で再生できません。
- 本機は、最大32文字までのフォルダ名またはファイル名を表示できます。
- 本機は、最大65,025個のMP3/WMAファイルを認識することができます。
- 本機は、最大999個のフォルダ（本機が再生できないファイルを含むフォルダも含む）を認識することができます。ただし、本機にはMP3/WMAファイルを含むフォルダのみ表示されます。
- VBRファイルを再生した場合、再生時間が正しく表示されない場合があります。
- 著作権保護されたファイルは、本機では再生できません。

ラジオを聴く

■ 選局する

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
2 本体の入力切換ボタンまたはリモコンのFM/AMボタンをくり返し押して、「FM AUTO」、「FM MONO」、「AM」のいずれかを選ぶ。
3 本体の⏮/◀◀、▶▶/⏭またはリモコンのチューニング▲/▼ボタンで聴きたいラジオ局の周波数を選ぶ。

ボタンを一回押すごとに周波数がFMでは0.1MHz、AMでは9kHzずつ変わります。ボタンを押し続けると周波数が連続して変化します。周波数が連続して変化し始めてからボタンを離すと、受信できる周波数に自動的に止まります。

FM AUTO、FM MONOについて:

- FMは、通常はFM AUTO（「AUTO」表示点灯）でお聴きください。ステレオ放送ならステレオ（「FM ST」表示点灯）で聴くことができます。
- 電波が弱く、雑音が多い。音が途切れるなどの症状がある場合は、FM MONO（「AUTO」表示消灯）にしてください。モノラル受信になりますが、雑音や音切れが軽減されます。

■ ラジオ局を登録する

ラジオ局を登録すれば、周波数で合わせなくても簡単に聴きたいラジオ局を選ぶことができます（プリセット選局）。

1 「選局する」（20ページ）の手順2～3を実行する。
2 メモリーボタンを押す。

プリセット番号が点滅します。

3 30秒以内に、プリセット▲/▼ボタンで登録するプリセット番号を選ぶ。
4 メモリーボタンを押して登録する。
5 さらに別のラジオ局を登録するときは、手順1～4をくり返す。

登録済みのプリセット番号に新しいラジオ局を登録した場合は、前の登録は消されます。

ご注意

FM AUTO、FM MONOの状態も登録することができます。登録するときは、FM AUTO、FM MONOを間違えないようにしてください。電波が弱くて雑音が多いFM局は、FM MONOで登録すると便利です。

■ 登録したラジオ局を聴く

プリセット▲/▼ボタンまたは数字ボタンで聴きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ。
数字ボタンで10以上のプリセット番号を入力するときは、≧10ボタンを押してから2桁の番号を入力してください。

■ プリセットスキャン

登録したラジオ局を5秒ずつ聴いて、希望のラジオ局を探すことができます。

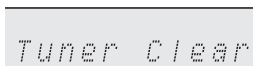
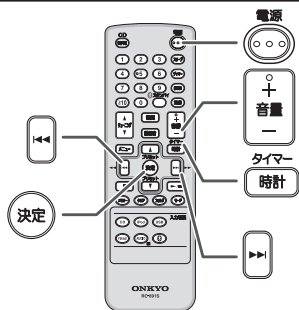
1 プリセット▲/▼ボタンを長押しする。

プリセット番号が点滅し、登録したラジオ局が番号順に5秒ずつ選局されます。

2 聴きたいラジオ局が見つかったら、もう一度プリセット▲/▼ボタンを押す。

■ 登録したラジオ局をすべて削除する

1 リモコンのFM/AMボタンを押す、または本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力をFMまたはAMに切り換える。
2 リモコンのクリアボタンを2秒以上押す。「Tuner Clear」と表示され、FM/AMすべてのプリセットが削除されます。

Tuner Clear

タイマー/スリープ機能（リモコンのみ）

タイマー再生:
設定した時刻に、本機の電源が自動的に入り、選択したソース（CD、FM/AM、USB、iPod、AUDIO IN）が再生されます。

本機には、「ワンスタイマー」と「デイリータイマー」の2種類のタイマーがあります。

ワンスタイマー（「⏲」表示）:
設定した時刻に1回だけタイマーが働きます。

デイリータイマー（「DAILY」表示）:
設定した曜日の設定時刻にタイマーが働きます。毎朝使用する目覚まし時計のようにタイマーを利用できます。

ワンスタイマーとデイリータイマーを併用する:
たとえば、ワンスタイマーで1回だけ聴くラジオ曲を設定し、デイリータイマーを目覚まし時計代わりに設定します。

1 デイリータイマーを設定する。

2 ワンスタイマーを設定する。

■ タイマー再生

タイマーを設定する前に:
- 正確な時刻が設定されているか確認してください（11ページ）。時計が設定されていない場合は、タイマー機能は使用できません。
- タイマー再生に使用するソースを準備してください（USB接続、ディスクのセット、iPodのドック接続など）。

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。

2 時計/タイマーボタンを長押しする。

「Once」が点滅します。

3 70秒以内に、I◄◄/►►Iボタンで「Once」（ワンスタイマー）または「Daily」（デイリータイマー）を選び、決定ボタンを押す。

4 70秒以内に、I◄◄/►►Iボタンで「Timer Set」を選び、決定ボタンを押す。

5 I◄◄/►►Iボタンでタイマー再生に使用するソース（CD、FM/AM、USB、iPod、AUDIO IN）を選び、決定ボタンを押す。

FM/AMを選んだ場合は、I◄◄/►►Iボタンでプリセット番号を選び、決定ボタンを押す。ラジオ局が1つも登録されていない場合は、「No Preset」と表示されてタイマー設定が中断されます。

6 I◄◄/►►Iボタンでタイマーがオンする曜日を選び、決定ボタンを押す。

デイリータイマーの場合は、タイマーを動作させる曜日の範囲を設定します。「Mon-Fri」と設定すると、月曜日〜金曜日にタイマーがオンします。

7 I◄◄/►►Iボタンでタイマー開始時刻（時）を設定し、決定ボタンを押す。

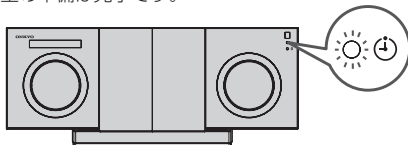
8 I◄◄/►►Iボタンでタイマー開始時刻（分）を設定し、決定ボタンを押す。

9 手順7〜8と同様に、タイマー終了時刻を設定する。

10 本体の音量＋/−ボタンまたはリモコンの音量＋/−ボタンで、タイマー動作時の音量を設定し、決定ボタンを押す。

確認のため、設定内容が最初から順に表示されます。

11 電源ボタンを押して、本機をスタンバイ状態にする。

「⏲」表示（赤色）が点灯します。これでタイマー再生の準備は完了です。

12 設定した時刻になると、再生が始まり、音量が設定したレベルまで徐々に大きくなります。タイマー再生中は、タイマー表示が点滅します。終了時刻になると、本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。

ワンスタイマーの場合：
1回動作するとタイマー設定が取り消されます。

デイリータイマーの場合：
手動でデイリータイマーの設定が取り消されるまで、設定した曜日の設定時刻にタイマーが働きます。

ご注意

タイマーソースをAUDIO INに設定した場合は、タイマー動作時に本機の入力がAUDIO INに切り換わり、音量が設定されるだけです。外部機器側でも、その時刻に再生が始まるよう設定する必要があります。

タイマー設定を確認する:

1 本機の電源を入れ、時計/タイマーボタンを長押しする。

2 70秒以内に、I◄◄/►►Iボタンで確認するタイマー「Once」または「Daily」を選び、決定ボタンを押す。

3 70秒以内に、I◄◄/►►Iボタンで「Timer Call」を選び、決定ボタンを押す。

設定内容が順に表示されます。

タイマー設定を取り消す:

1 本機の電源を入れ、時計/タイマーボタンを長押しする。

2 70秒以内に、I◄◄/►►Iボタンで取り消すタイマー「Once」または「Daily」を選び、決定ボタンを押す。

3 70秒以内に、I◄◄/►►Iボタンで「Timer Off」を選び、決定ボタンを押す。タイマーが取り消され、⏲ または**DAILY**表示が消えます（設定内容は記憶されています）。

タイマー/スリープ機能（リモコンのみ）（続き）

記憶されているタイマー設定を動作させる:
タイマーが取り消されても、タイマーの設定内容は記憶されています。以下の手順で、再びそのタイマーを動作させることができます。

1 本機の電源を入れ、時計/タイマーボタンを長押しする。

2 70秒以内に、⏮/⏭ボタンで動作させるタイマー「Once」または「Daily」を選び、決定ボタンを押す。

3 70秒以内に、⏮/⏭ボタンで「Timer On」を選び、決定ボタンを押す。

⏲ または**DAILY**表示が点灯し、設定内容が順に表示されます。

4 電源ボタンを押して、本機をスタンバイ状態にする。

右上の ⏲ 表示（赤色）が点灯します。

■ スリープタイマー

指定した時間が経過すると本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。

1 好みのソースを再生する。

2 リモコンのスリープボタンを押す。

3 「SLEEP」表示が点灯し、「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れます。スリープ時間表示中に、スリープボタンを押すと10分単位で時間を短くできます。

4 指定した時間が経過すると本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。電源がスタンバイ状態になる1分前から、音量が自動的に小さくなっていきます。

残り時間を確認する:
「SLEEP」表示が点灯している状態で、スリープボタンを1回押す。スリープ時間表示中に、さらにスリープボタンを押すと10分単位で時間を短くできます。

スリープタイマーを取り消す:
「SLEEP」表示が点灯している状態で、電源ボタンを押す。なお、本機の電源をスタンバイ状態にせずにスリープタイマーを取り消すには、以下の手順を行ってください。

1 「SLEEP」表示が点灯している状態で、スリープボタンを押す。

2 「Sleep off」が表示されるまでスリープボタンをくり返し押す。

「SLEEP」表示が消灯します。

■ タイマーとスリープタイマーを併用する

たとえば、就寝時にラジオを聴き、翌朝CDの音楽で目覚めるには:

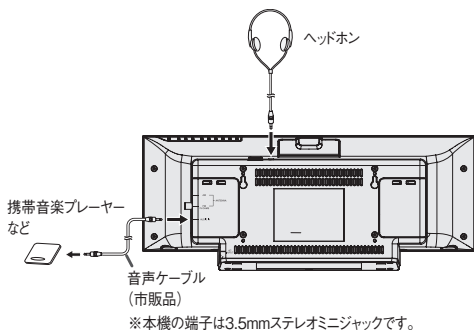
1 ラジオを聴き、スリープタイマーを希望の時間に設定する。

2 CDが目覚める時間に再生されるように、タイマーを設定する。

就寝時の音量とは違う音量に設定できます。

外部機器を接続する

接続用ケーブルは付属していません。必要に応じて、市販のケーブルを用意してください。

※本機の端子は3.5mmステレオミニジャックです。

■ 外部機器の音声を聴く

1 音声ケーブルを使って、外部機器を本機のAUDIO IN端子に接続する。

レコードプレーヤーを接続するには、フォノイコライザーが必要です。レコードプレーヤーに内蔵しているなら直接接続できます。

2 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。

3 リモコンのAUDIO INボタンを押す、または本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力をAUDIO INに切り換える。

4 外部機器で再生を開始する。

外部機器の音量は適切に調節してください。

ご注意

携帯音楽プレーヤーのイヤホン出力の信号レベルは小さいため、AUDIO IN端子に接続して本機の他のソースと同等の音量にするには、携帯音楽プレーヤー側や本機で音量を上げる必要があります。その場合、再びイヤホンで携帯音楽プレーヤーを聴くときは、その音量にご注意ください。また、本機で他のソースを再生する場合も、音量にご注意ください。

■ ヘッドホンを使う

- ヘッドホンは上面の 🎧 端子に接続します。ヘッドホンを抜き差しするときは、音量を小さくしてください。
- 過大な音量で音楽を聴かないでください。難聴の原因となります。
- ヘッドホンは3.5mmステレオミニプラグ、インピーダンス16～50Ω（32Ω推奨）のものをご利用ください。
- ヘッドホン接続中は、スピーカーの音が消えます。

困ったときは

下記の内容をチェックしてみてください。本機以外の原因も考えられます。接続した機器の取扱説明書もご確認ください。

■ 一般

症状	原因
● 本機がボタン操作に反応しない。動作がおかしい。	● 電源を一度スタンバイにしてから入れ直してください。 ● 電源プラグを一度コンセントから抜き、10秒以上の後、差し直してください。 ● それでも解決できない場合は、本機をリセットしてください(25ページ)。
● 音が出ない。	● 音量が「0」になっていませんか? ● ヘッドホンが接続されていませんか? ● 再生機器が再生状態になっていますか? ● 再生機器の音量が小さ過ぎませんか? ● 外部機器の音声ケーブルをヘッドホン端子に間違って接続していませんか?
● ヘッドホンから音が出ない。	● AUDIO IN端子にヘッドホンを接続していませんか?
● 音が歪んだり、ノイズが乗る。	● 入力を他へ切り換えてから戻してください。 ● 電源を切って入れ直してください。

■ CD

症状	原因
● ディスクを再生できない。 ● 雑音が入る。 ● 再生が途中で止まる、または正しく再生されない。	● ディスクの表裏が逆になっていませんか? ● 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にCDを読み取る音が聞こえる場合があります。 ● 本機が対応していない規格のディスクを使用していませんか? ● ディスクが歪んでいたりデータ面に傷がついたりしていませんか?
● 再生中に音が途切れたり停止したりする。	● 本機を振動の多い場所に設置していませんか? ● ディスクが汚れていませんか? ● 本機の内部に結露が発生していませんか?

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「No Disc」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する。

コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため本機で再生できない場合があります。

■ リモコン

症状	原因
● リモコンが働かない。	● 本機の電源コードはコンセントに接続されていますか? ● 電池の向きは正しいですか? ● 電池が消耗していませんか? ● リモコンを操作している距離/角度が、操作範囲から外れていませんか? ● 本体のリモコン受光部に強い光が当たっていませんか?
● 本機が誤動作する。または電源がオンできない。	● 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると、本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

■ ラジオ(チューナー)

症状	原因
● ラジオ受信中に雑音が入る。	● 本機の近くにパソコンやテレビを設置していませんか? ● FMアンテナやAMアンテナは正しく設置されていますか? 電源コードの近くにアンテナが設置されている場合は、電源コードから離してください。 ● アンテナの向きや位置を変えて、受信状態を良くしてください。アンテナは窓際に置く方が良いです。 ● FMの場合は、モノラル受信になりますが、FM MONOにしてみてください(20ページ)。 ● 近くに自動車が走っていたり、飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。 ● 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
● 電波が強いのにFMがモノラル受信になる。	● 入力切換がFM MONOになっている。FM AUTOに切り換えてください。

■ iPod、iPhone、iPad

症状	原因
● 音が出ない。	● iPod、iPhone、iPadが再生されていない。 ● iPod、iPhone、iPadが本機に正しく接続されていない。 一度外して再接続してください。 ● iPod、iPhone、iPadにケースを付けている場合は、ケースを外してください。
● iPod、iPhone、iPadを充電できない。	● iPod、iPhone、iPadがしっかりと接続されていない。 ● 本機が対応していないiPodまたはiPhoneを使用している。対応モデルは、13ページ参照。 ● 本機の状態によっては、充電できない場合があります。13ページ参照。
● iPhoneの画面に「This accessory is not made to work with iPhone」または「This accessory is not supported by iPhone」と表示される。	● iPhoneの電池残量が少ない。iPhoneを充電してください。 ● iPhoneがドック端子にしっかりと接続されていない。

■ USB、MP3/WMAディスク

症状	原因
● USBデバイスが本機に認識されない。	● USBデバイスが本機に正しく接続されていますか?
● フォルダ、ファイルが表示されない。	● メディアにMP3ファイルまたはWMAファイルが保存されていますか? ● メディアにAACファイルのみが保存されていませんか? ● USBマスストレージクラスでないウォークマン、スマートフォンなどを本機のUSB端子に接続しても再生できません。 ● USBハブには対応していません。
● 再生が開始できない。	● 著作権保護されているWMAファイルを再生しようとしていませんか? ● 本機が対応していないMP3ファイルを再生しようとしていませんか?
● 再生時間が正しくない。	● VBRファイルでは、再生時間が正しく表示されないことがあります。

■ Bluetooth

症状	原因
● ペアリングができない。	● 入力をBluetoothに切り換えた後、本体のペアリングボタンを3秒以上押してください。 ● 他にもBluetooth機器がある場合、それらの電源を切ってペアリングをやり直してください。 ● Bluetooth対応機器で、「Onkyo CBX-200」の登録を削除した後、再度ペアリングしてください。
● 音が途切れる。	● 無線LANの機器や電子レンジなどが近くにありませんか? なるべくそれらの機器から離してください。 ● Bluetooth対応機器と本機の距離が離れすぎていませんか? また、壁などに遮られていませんか?
● 本機の音がBluetooth対応機器の再生映像より遅れる。	● Bluetooth伝送の特性上、多少の信号遅延があります。

■ 時計、タイマー再生

症状	原因
● 時計の時刻が合っていない。	● 停電になったり電源コードを抜いたりしませんでしたか? ● 時計を設定し直してください(7ページ)。
● タイマー再生しない。	● 現在時刻は正しく設定されていますか? 時計が設定されていないと、タイマー再生はできません。 ● Timer Volの設定値が小さすぎる。 ● 時計やタイマーは正しく設定されていますか? 停電や電源コードを外した後は、時計とタイマーを設定し直してください。 ● 開始時刻に電源が入っているとタイマーは動作しません。タイマー開始時刻前に必ず電源をスタンバイ状態(⏻ 表示(赤色)点灯)にしてください。 ● OnceとDailyのタイマー予約の時間が重なっていると、あとの方のタイマーが働きません。時間を1分以上あけて設定してください。

■ 結露について

気温の変化が激しい場所や、極端に湿度の高い環境に本機を設置すると、本機の内部(ディスク読み取り部など)に結露が発生することがあります。結露は故障の原因になります。結露が発生した場合は、電源コードをコンセントから外し、室温で3時間以上放置してください。

■ 問題が生じたときは

本機が外部から強い衝撃(機械的衝撃、過度の静電気、雷などによる異常電圧など)を受けたり、本機を誤って操作すると、本機の動作が異常になることがあります。

このような問題が生じた場合は、以下を実行してください。

1 本機の電源を一度スタンバイにしてから入れ直す。

2 それでも問題が解決しない場合は、電源プラグを一度コンセントから外し、10秒以上の後、接続し直し、電源を入れる。

ご注意

上記を実行しても問題が解決しない場合は、本機をリセットしてください。

困ったときは（続き）

■ 本機をリセットする

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
2 リモコンのAUDIO INボタンを押す、または本体の入力切換ボタンをくり返し押して、入力をAUDIO INに切り換える。
3 本体の⏮/◀◀ボタンを押して離す。
4 その後、本体の■ボタンを「RESET」と表示されるまで4秒以上押し続ける。

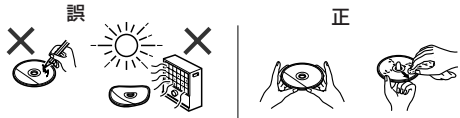
ご注意
本機をリセットすると、本機に保存されているデータ（時計設定、タイマー設定、ラジオ局の登録、Bluetoothのペアリング情報など）がすべて消去されます。

■ 本機を移動するときは

iPod、iPhone、iPad、USBメモリーを本機から取り外し、ディスクを取り出してください。また、本機の電源をスタンバイにしてください。外部機器が接続されている状態やディスクが残っている状態で本機を移動すると、故障の原因となります。

■ CDの取り扱いについて

CDは、ディスクの表面が汚れていると正しく読み取ることができなくなります。CDの取り扱いについて、以下の点にご注意ください。

- 再生面はもちろんラベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。また傷などをつけないようにしてください。
- 直射日光が当たる場所や、気温や湿度が高い場所に放置しないでください。
- 両端をはさむように持ってください。指紋、汚れ、水滴などが付着すると、再生時のノイズや読み取りエラーの原因になります。汚れが付着して正しく読み取れない場合は、乾いた柔らかい布でCDの内側から外側方向に軽く拭いてください。

切り取り

ONKYO　**音響映像機器保証書**　持込修理

品 番（製品名）	製造番号（SERIAL）
CBX-200	**本体に記載**

お客様	
お名前	様
ご住所 〒□□□－□□□□	
電話番号（　　　）　　　－	

お買い上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
本　体　**1年** （ただし、消耗品・ソフトウェアは除く）	

●お客様へお願い

お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をご記入ください。ご購入時の納品書、領収書等 の添付がある場合、お買い上げ日、取扱販売店名等の記載に代えることができます。

本書は、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に万一故障が発生した場合は、保証書をご提示のうえ、オンキヨーオーディオコールセンター、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービス拠点に修理をご依頼ください。

オンキヨー株式会社

・お問い合わせ先
オンキヨーオーディオコールセンター
電話 050-3161-9555

ご相談窓口・修理窓口のご案内

販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は

保証の手続き上、お買い上げになった販売店様での受付けが必要となります。長期保証期間内の製品は、店頭への修理品持込みをお願いいたします。

■ お電話による故障判定と、修理受付け

※ 意外な操作ミスが故障と思われています。お問い合わせの前に取扱説明書をもう一度お調べください。

また、弊社ホームページ、サポートのオーディオ製品サポート情報にトラブル解決のFAQを掲載していますので、ご参照ください。
http://www.jp.onkyo.com/support/faq/index.htm

オンキヨーオーディオコールセンター
050-3161-9555

（受付時間:10:00～18:00 土·日·祝日および弊社で定める休業日を除きます）

※ 製品操作のご案内、リモコン等付属パーツのご要望、その他ご不明な点についても受け付けております。

※ スムーズな対応のため、お問い合わせの前に以下の情報をお調べください。

- 製品の型番
- 接続している他機器
- できるだけ詳しい不具合状況
- ご購入店名
- ご購入年月日

■ メールによる修理お申込み

下記のURLからお申し込みいただけます。
http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm

■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記のURLにて全国の修理拠点のご案内がございます。
http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm

■ 保証書について

保証書の記載事項をご確認ください。また、所定事項をご記入いただき大切に保管してください。保証期間内に万一、故障や異常が生じたときは、保証書をご用意のうえ、上記相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間終了後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後、最大8年間保有しています。保有期間経過後でも故障箇所によっては、修理可能の場合がありますのでご相談ください。

無料修理規定

本保証書は保証期間中、製品のハードウェアの保証をするものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがったご使用で故障した場合には、無料修理をいたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、製品と保証書、及びご購入店、ご購入日の分かる書類をご持参ご提示のうえ、オンキヨーオーディオコールセンター(050-3161-9555)、お買い上げの販売店またはオンキヨーサービス拠点にご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、オンキヨーオーディオ コールセンターにご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   1) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   2) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害 (硫化ガス等)、異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数)、水掛かり等による故障および損傷
   4) 一般家庭用以外 (例えば、業務用の使用、車両・船舶への 搭載等) に使用された場合の故障および損傷
   5) 消耗品 (各部ゴム、電池、キャリングケース等) の交換
   6) 保証書の提示がない場合
   7) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合 あるいは 文字を書きかえられた場合
   8) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
   9) 出張修理などを行った場合は、出張料はお客様のご負担となります。
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
7. 故障その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

※ お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。**したがってこの保証書によって、保証書を発行している者 (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません**ので保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはオンキヨーオーディオコールセンターにお問い合わせください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

主な仕様

仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

■ 総合

電源・電圧	AC 100V、50/60Hz
消費電力※	33W 7W(無音時) 4W(Bluetoothスタンバイ時) 0.2W(スタンバイ時)
最大外形寸法	475(幅)×191(高さ)×83(奥行)mm
質量	2.5kg
音声入力	アナログAUDIO IN
USB	1
ヘッドホン	1

※ ドック、USB端子に接続しない状態の消費電力です。

■ アンプ部

定格出力	2ch×20W 6Ω(THD+N 1%以下、2ch駆動時 (同時駆動))
実用最大出力	2ch×25W 6Ω、1kHz,2ch駆動時 (同時駆動)
総合ひずみ率	0.16 %(1kHz 1W出力時)
ダンピングファクター	31(6Ω)
入力感度/インピーダンス	500mV/47kΩ(AUDIO IN)
周波数特性	60Hz～15kHz/±3dB(AUDIO IN)
トーンコントロール最大変化量	+8/-7dB、80Hz(BASS) +6/-7dB、10kHz(TREBLE) +7dB、80Hz(S.BASS)
SN比	75dB(AUDIO IN、IHF-A)

■ FM/AMチューナー部

受信範囲	〈FM〉 76.0MHz～90.0MHz 〈AM〉 522kHz～1629kHz
プリセットチャンネル数	40局

■ CD部

周波数特性	60Hz～20kHz
全高調波歪率	0.12%
ワウ・フラッター	測定値以下(±0.001% (W.PEAK), EIAJ)

■ Bluetooth部

通信システム	Bluetoothバージョン2.1+EDR (Enhanced Data Rate)
対応プロファイル	A2DP 1.2 (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP 1.0 (Audio Video Remote Control Profile)
対応コーデック	SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T

■ スピーカー部

使用スピーカー	10cm フルレンジ
防磁設計	無(JEITA)